

〈新教材〉



と 飛ぶ、たねで遊ぼう！

タンポポのたねを見たことがありますか？
種には綿毛の落下傘がついていて、風に乗って、遠くまで飛んでいきます。植物は、好きなところで自分で移動することができません。

植物の種には、子孫を残すために、遠くまで飛ばす工夫がいっぱいあります。

たねの模型を作って、遠くまで飛ばしてみましよう。

1. ニワウルシの種の模型を作って飛ばそう

- ①両面折り紙を幅1.5cmに切る。
- ②1本の折り紙を半分に折る。【図1】
- ③折り紙を開き、折り目がついたところにのりを付ける。
- ④折り紙の両端を折り目に合わせて貼る。
(たてにすると、8の字になります)【図2】
投げ上げたり、たくさん作って一度に投げたりしてみましょう。



【図1】

ここに、のり付け



【図2】

2. ラワンの種の模型を作って飛ばそう

- ①折り紙を幅1.5cmに切る。
- ②半分に折り、少しずらす。【図3】
- ③折ったところにクリップを止める。
- ④折り紙の両端を少し外側にそらすように丸める。
放り投げたり、たくさん作って一度に投げたりしてみましょう。



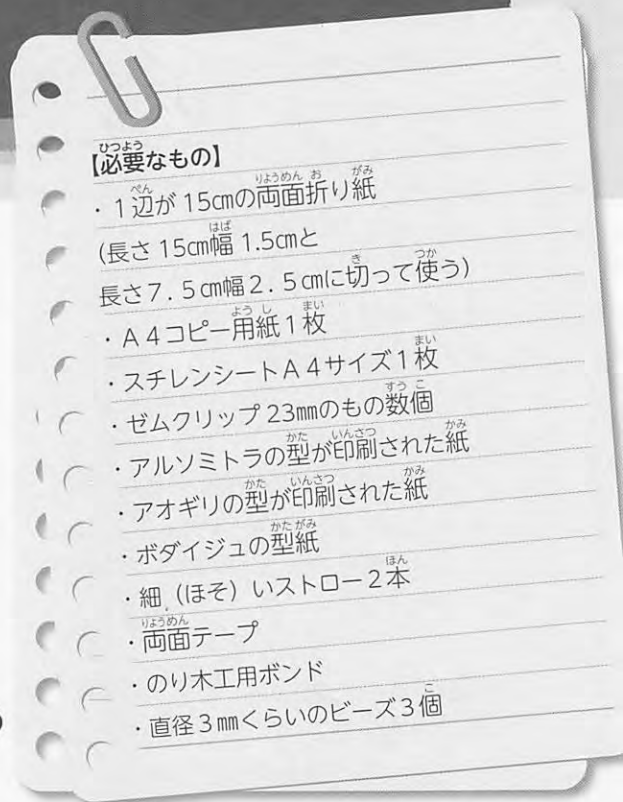
【図4】



【図3】



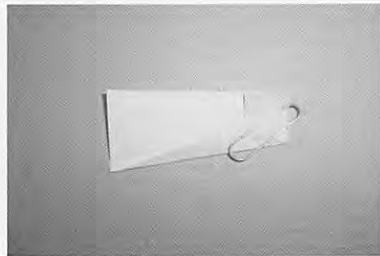
【図4】



3. マツの種の模型を作って飛ばそう

【図5】

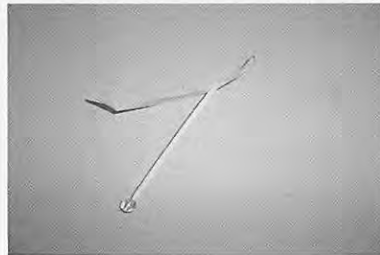
- ①折り紙を幅2.5cm、長さ7.5cmに切る。
 - ②図5のように、折り紙を折る。
 - ③折り紙を重ねているところに、クリップを付ける。
縦に落とすと、どうなるかな？
横に寝かせて落とすと、どうなるかな？
- ※松ぼっくりのかさのすき間に、マツの種ができます。
マツの種の模型は吉良幸世氏が考案したものです。



4. ボダイジュの種の模型を作って飛ばそう

【図6】

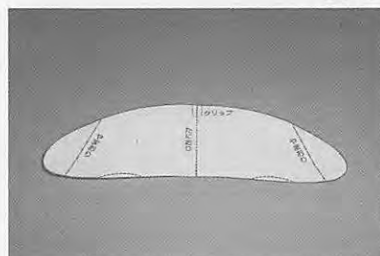
- ①切り取った型紙にスチレンシートを重ねて切る。
 - ②翼が浅い舟形になるように軽く曲げる。
 - ③ストローを翼の穴に刺し、ボンドで固定する。
 - ④ストローの反対側にボンドでビーズを付ける。【図6】
- ※ボダイジュは、葉に数個の丸い種が付きます。
種がいくつか落ちて、1～2個になったとき、
種をぶら下げて、高速で回転しながら遠くへ飛びます。



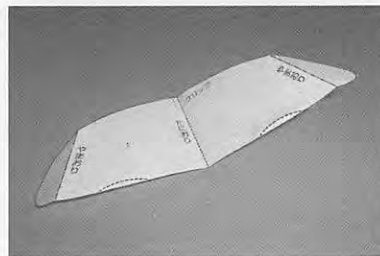
5. アルソミトラの種の模型を作って飛ばそう

【図7】

- ①アルソミトラの型を印刷した紙を、線にそってはさみで切る。
 - ②真ん中の線で半分に折り、折り目がいたら広げる。
 - ③両脇の点線で山折りにし、元通りに広げる。【図7】
 - ④破線を親(おや)指の爪で押して谷折りする。
 - ⑤種がついている部分にクリップを付ける。【図8】
 - ⑥高いところから前に押し出すようにして飛ばす。
- ※グライダーは、このアルソミトラの種をモデルにして生まれました。

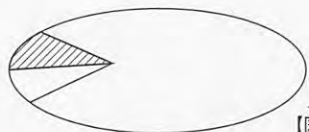


【図8】



6. アオギリの種の模型を作って遊ぼう

- ①アオギリの型紙を切り抜く。
- ②の部分をよく飛ばすように、重なり部分を調節して折る。【図9】



【図9】

- ③型紙の残りを小さく切り取り、丸める。
丸めた物を切り抜いた型紙にボンドで貼る。【図10】
- ※種は少しずらして両端に貼ります。種の反対側を持って回転させるように飛ばしてみましよう。

【図10】

